

# 令和3年度

## 保育士の自己評価結果

調査期間：3月4日(金)～3月13日(日)

調査方法：Googleフォーム

調査対象者：正規保育士全員（14名）

回答率：85.7%(12名/14名)

■ おおむね達成できている

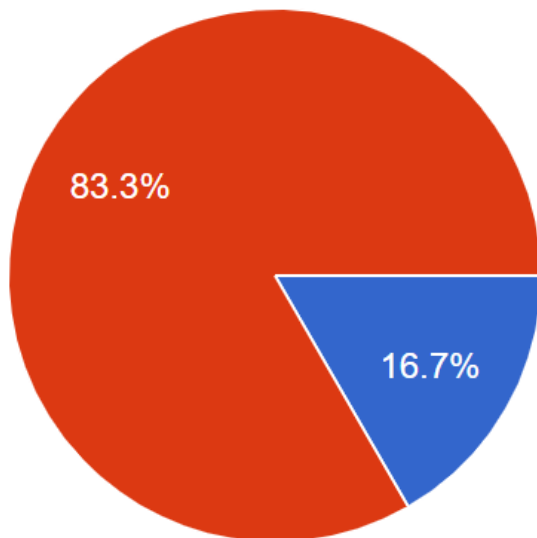
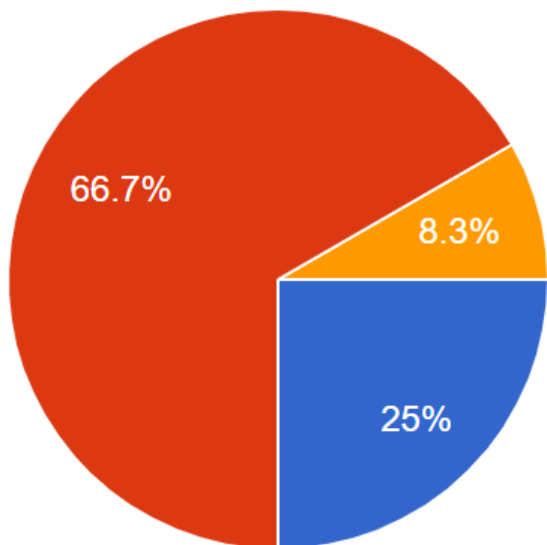
■ 達成に向けて取り組んでいるが、  
まだ課題が残る

■ 成果が不十分である

園の保育方針を理解して実践しようとしているか

子どもの姿を的確に捉え、保育に必要な記録資料などの  
作成と活用を効果的に行っているか。

※事務作業のない保育士は、作成された資料を確認・共有し、  
フォローができているか

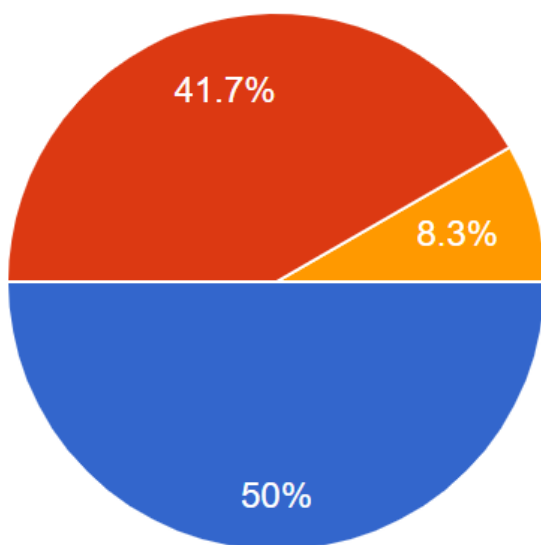
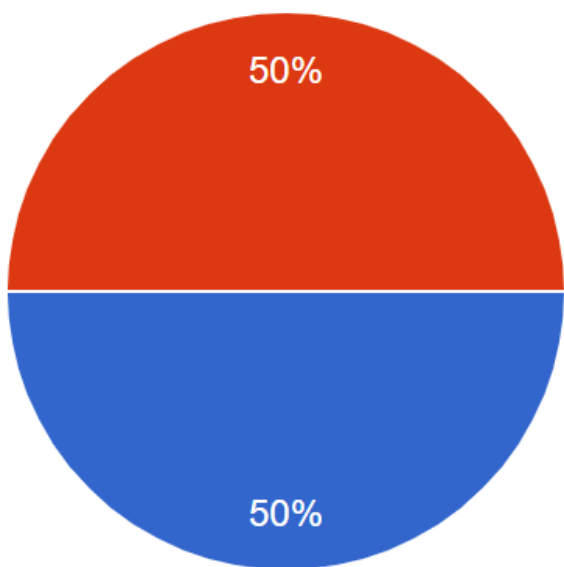


計画立案に基づいた保育、クラス運営をしているか。

※計画立案していない保育士は、担任保育士や全体を  
見てフォローができるよう意識しているか

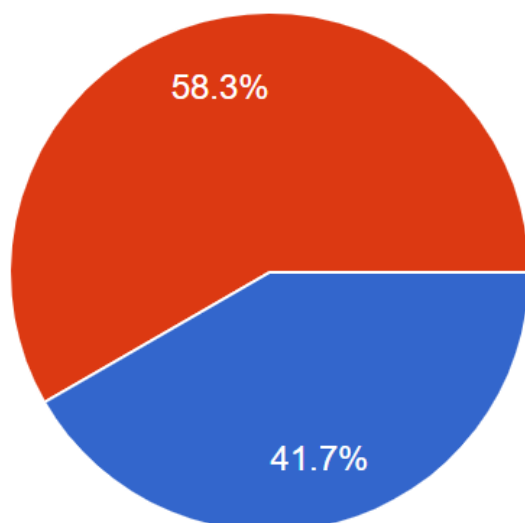
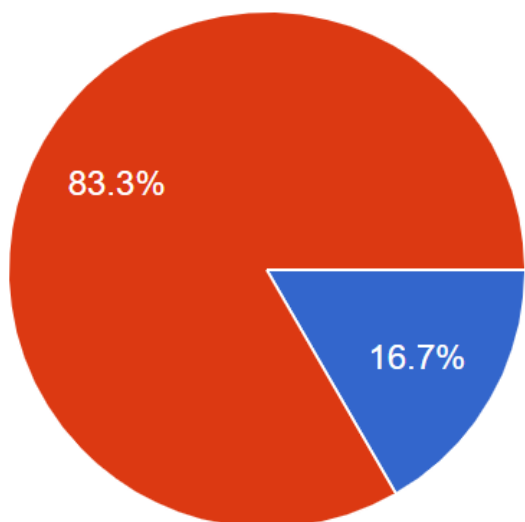
日々の反省を活かした計画立案や保育実践が  
なされているか。

※上記該当しない保育士は、計画立案した保育士と  
情報共有を図り、フォローができているか。

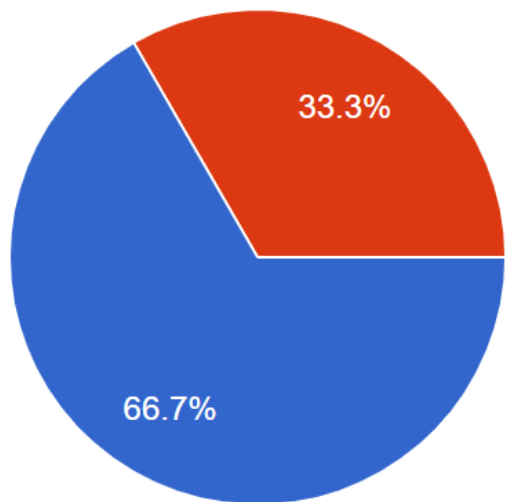


子ども一人ひとりの目標と課題を明確にし、  
見通しを持ってかかわっているか。

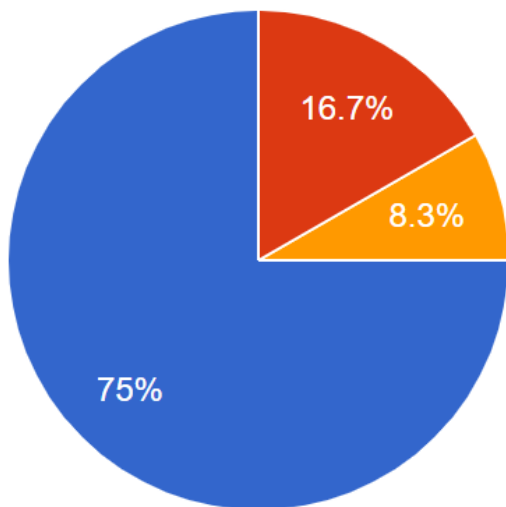
子どもの発達を促すための環境作りやかかわりを  
心がけているか。



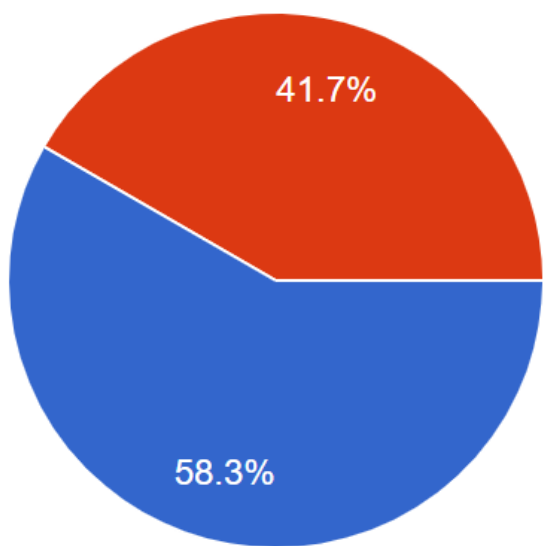
子どもの姿を見ながら、臨機応変・計画的に環境作りや援助を行っているか。



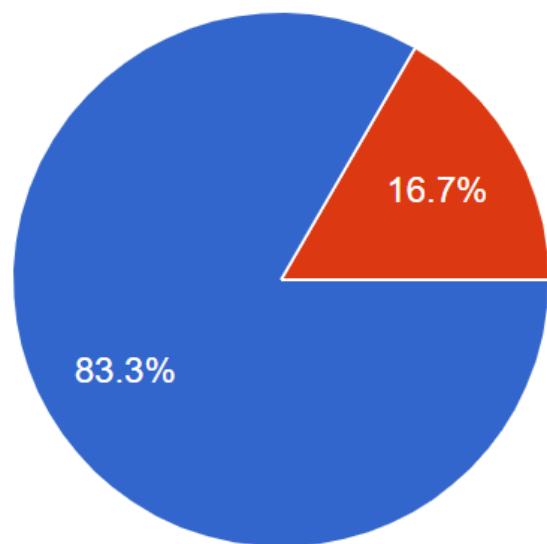
玩具や遊具の安全確認・消毒及び掃除・整理整頓に努めているか。



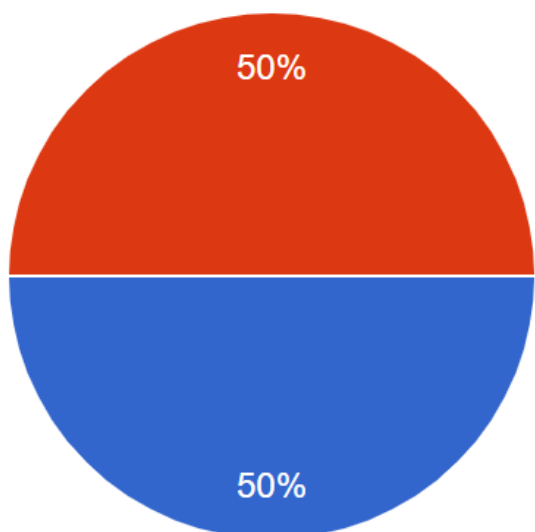
子ども達の手本となるような言葉づかいや立ち振る舞いを心がけているか。



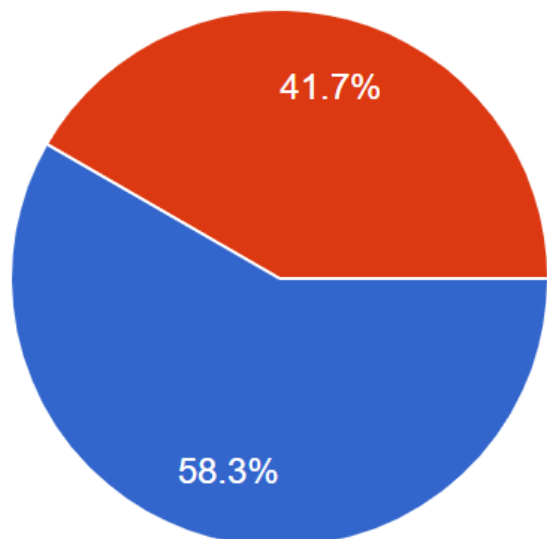
園内外保育における人数確認及び安全確認ができていないか。



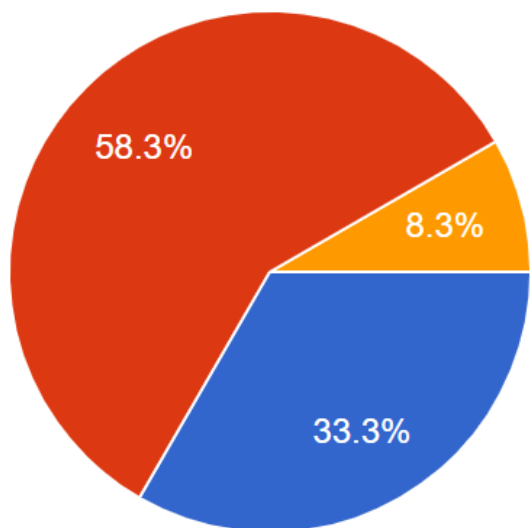
身体的、精神的、情緒的発育や家庭環境及び食事習慣等、総合的に多面的に子どもの状態を把握しているか。



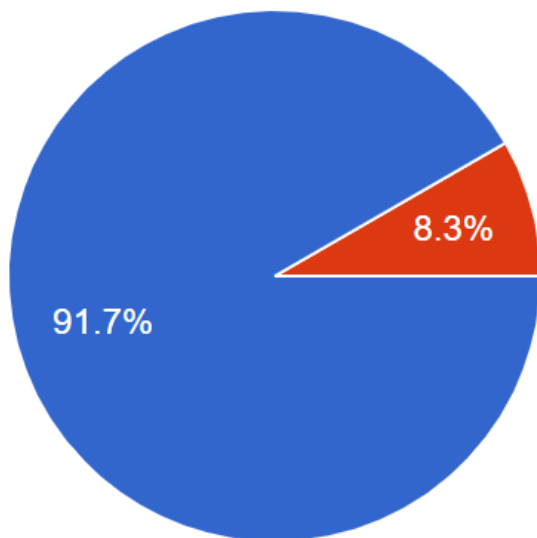
施設的环境維持向上に努め、安全対策の共通理解や体制づくりに努めているか。



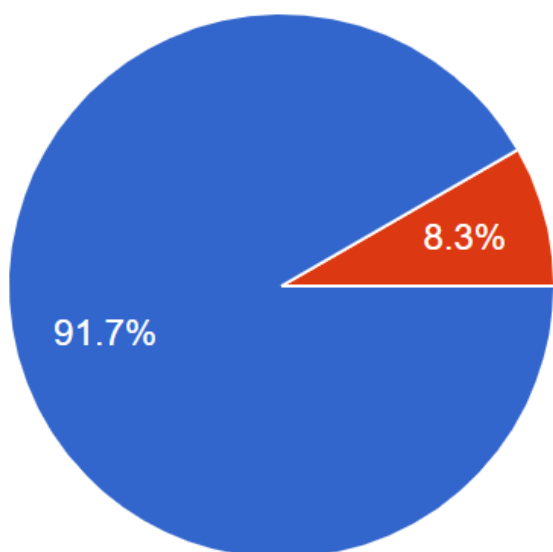
食育の計画を作成し、日々の保育の中で子どもの「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培わなければならないことを理解しているか。



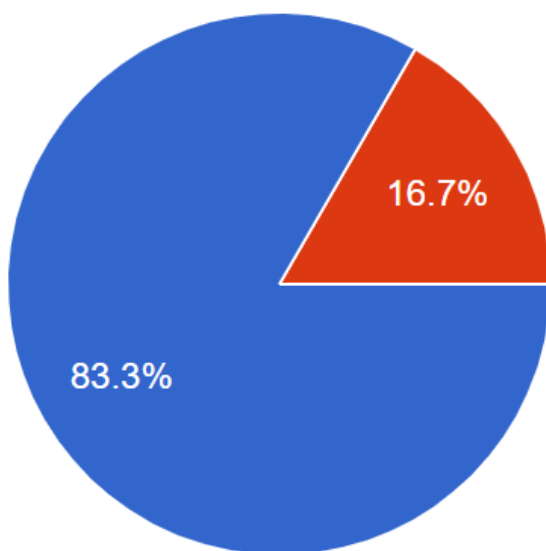
行事の種類や実施回数は適切に行われている



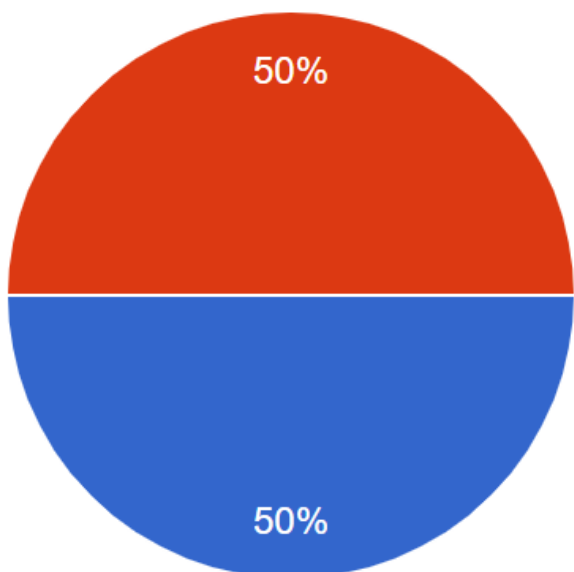
行事の計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。



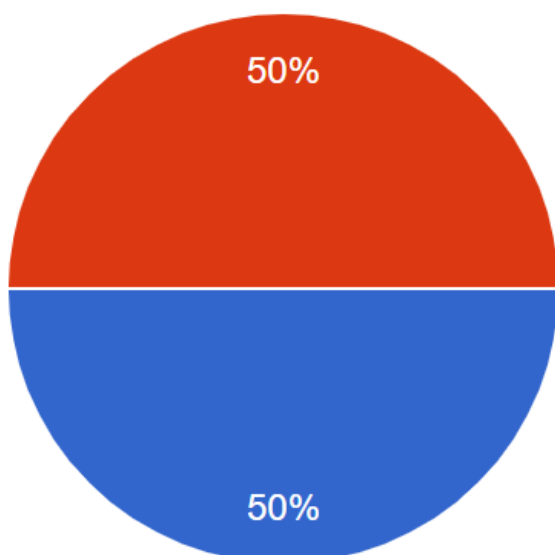
好感の持てる態度で保護者や見学者・来客等に明るく丁寧な対応ができていますか



保護者等の話をよく聞くなど、コミュニケーションをとり、安心して相談できる関係作りに努力しているか。

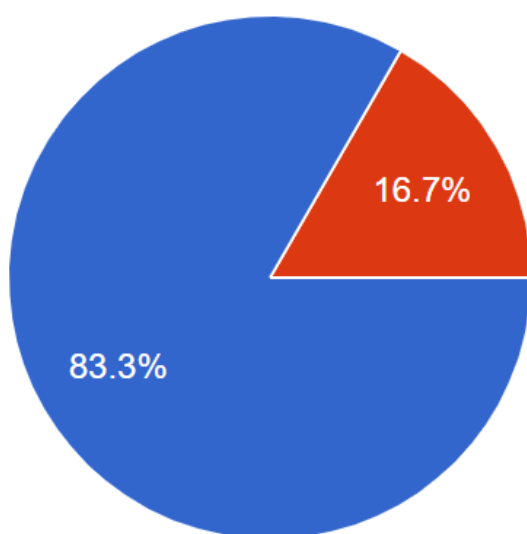
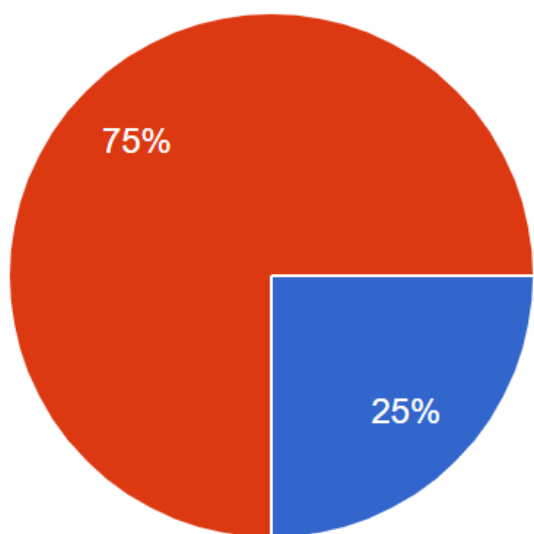


保護者に対し、子どもの様子を分かりやすく伝えているか。



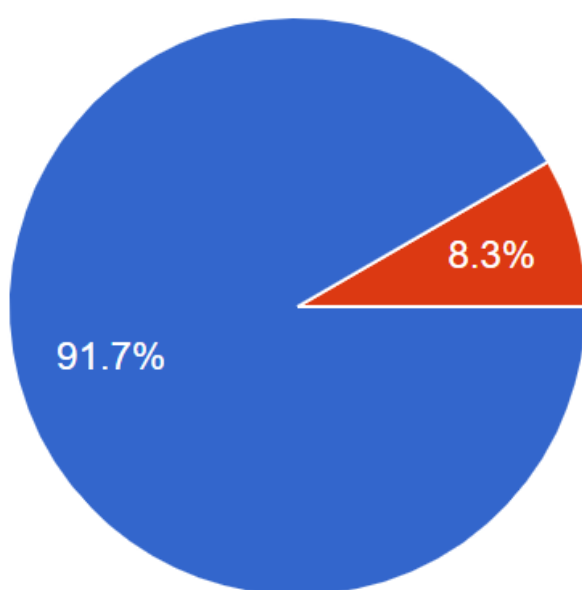
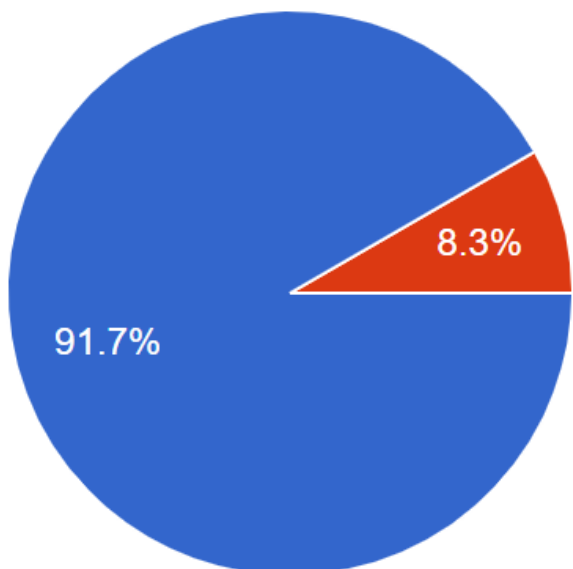
必要な情報を収集し、自分の実践に活かしているか。

上司や先輩の指導・助言を受け入れ、実践しているか。



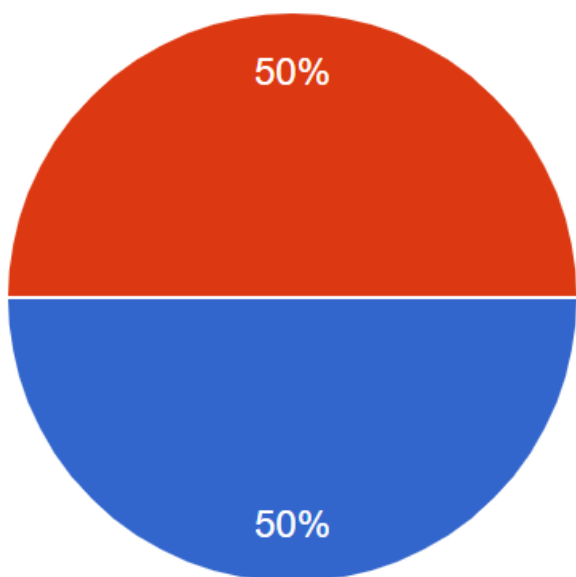
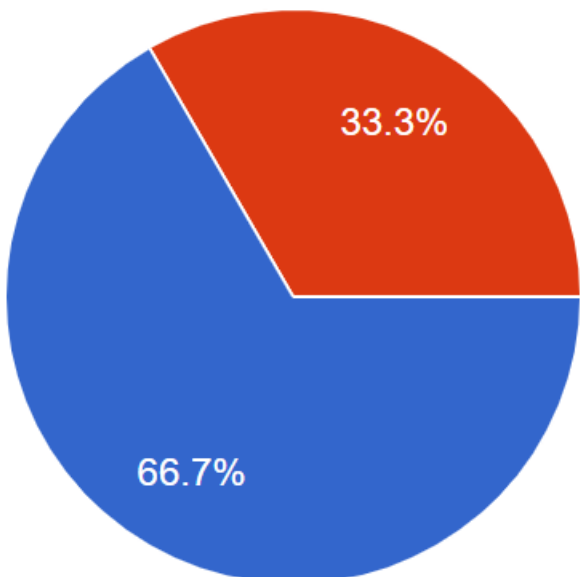
組織の規則や手続き、職場のルールを守って職務に取り組んでいるか。

服装や身だしなみを整え、丁寧に礼儀正しい対応をしているか。

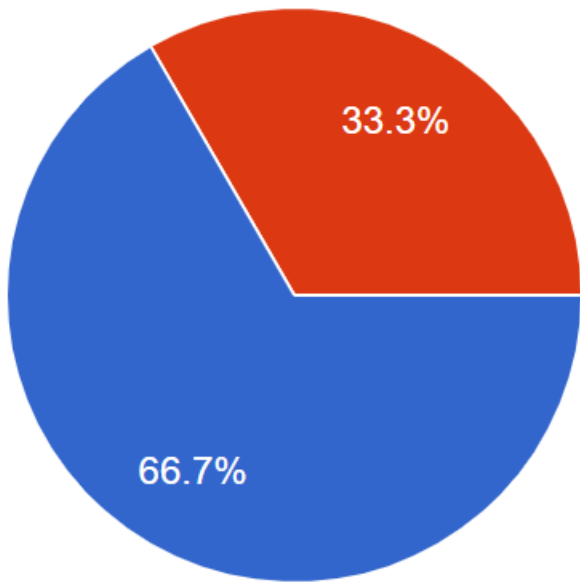


職員間の必要な連絡・連携・報告はとれているか。

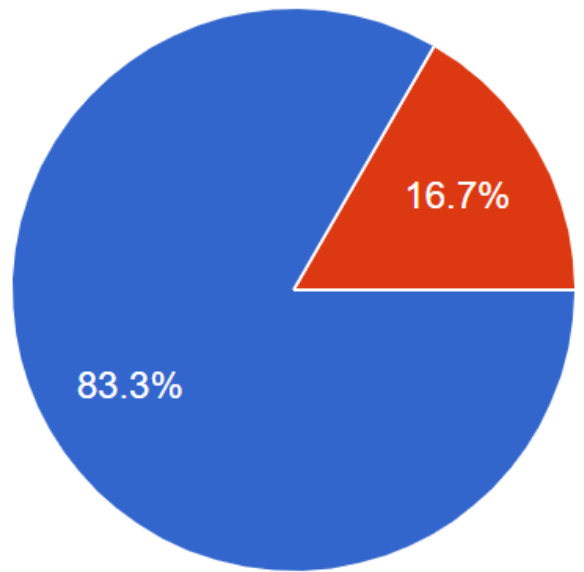
与えられた仕事(日常・行事・雑用等)はきちんとできているか。(正確さ・提出期限)



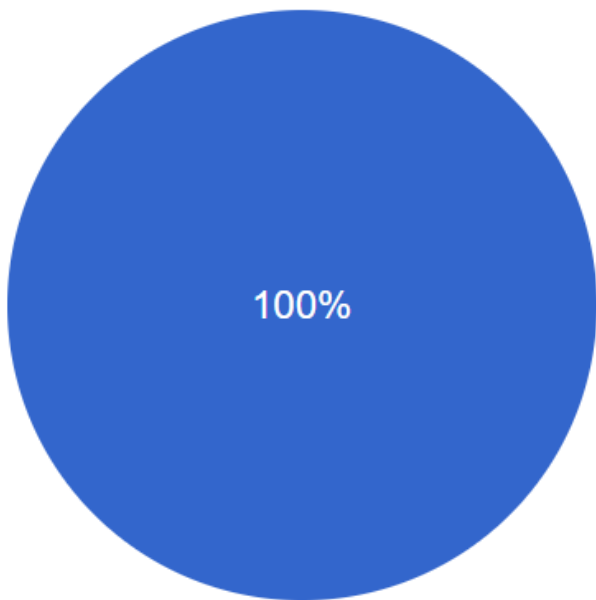
組織の一員である事を自覚し、周りの仕事にも自主的に協力しているか。



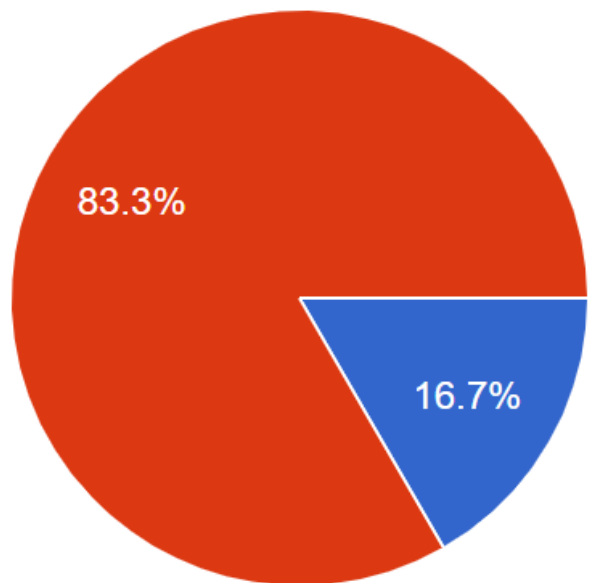
自己の体調を管理し、他の職員に迷惑がかからないよう努めているか。



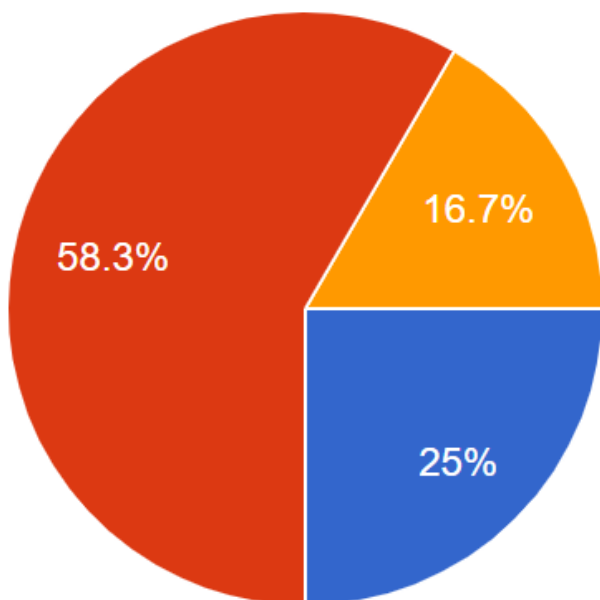
職務上、知り得た情報の守秘義務の遵守し、子どもの人権に留意しているか。



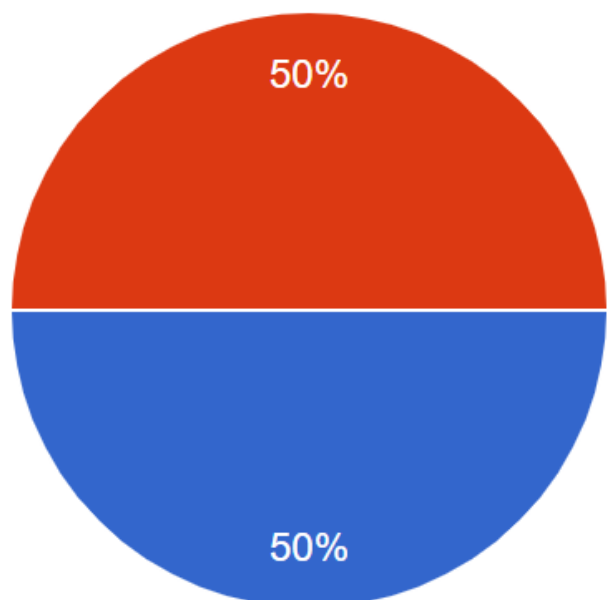
問題意識を持ち、専門書を読んだり情報を収集したりして、自己の保育力の向上に努めているか。



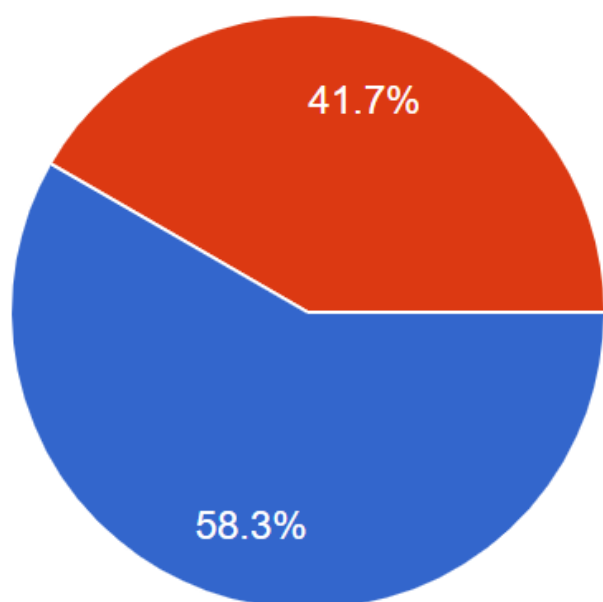
積極的に研修や講習に参加する等、保育について何らかの自己啓発(自己研鑽)に取り組んでいるか。



新しい仕事や困難な仕事にも、失敗を恐れず、前向きに取り組んでいるか。



保育園だより、クラスだより、食育だより、保健だより、地域だより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。



より良い保育園にしていくために今後どのように改善していけばよいか。

- ・職員同士で話し合いをし、意見交換ができていように思う。1.2年目の子ども意見をもっと言えるよう、話しやすい雰囲気を作っていきたい。
- ・今の職員一人一人が自分の思いや、考えを伝えあえる職場の雰囲気を大切に子ども理解をさらに深めていきたいです
- ・他のクラスの子どもたちの状況を把握できていないことがあるので、クラス内だけでなく他クラスの職員にも相談したり子どもについて話して補充に入った時にも対応していけるようにする
- ・子どもの人権を守り一人ひとりの子どもに寄り添った保育ができているか、日々実践を振り返りながら職員全員で考えていく
- ・風通しの良い職場環境作りに努め同僚性を高めていく
- ・子どもが安全に過ごせる環境整備を常に行っていく
- ・自己研鑽を重ねていく
- ・基本を忘れずに続けていく事と、今まで当たり前のように行ってきた事でも本当に良い事なのか、子どもにとって大切な事は何か、よく考えて実践することが必要だと思います。
- ・子どものことでも、事務的な仕事でも、大変なところがあったら抱え込まずに声を掛け合い、連携がとれる保育がよいと思います。  
一人の負担が大きくなるとその分保育のことも振り返る時間が取れなかったりすると思うので、大変な時には自分から相談したり、声を掛け合いながら助け合えると良いかなと思います。
- ・職員間の認め合い、保護者との信頼関係の向上、子ども優先の保育の実施と考えます。
- ・細かいことでも一つ一つ丁寧に職員間での意思疎通を図る事。保育に対する考えや声かけの仕方など常勤、非常勤関係なく共通理解を深めることがより良い保育につながると思う。
- ・コロナ渦でいろいろな工夫が必要になってくることもあると思うので、正規職員・臨職の先生みんなで意見を出し協力して子ども達が楽しく過ごせる環境を作っていけたら良いと思います。
- ・目標をもって、学び続ける努力をする。また、同じ職場の先生とちょっとした時などに子どもの話、保育の話をする事で色々な気づきが生まれたりコミュニケーションのとれた保育ができると思う。